

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	24,060	30,484	▲6,424
普通預金	41,474,571	34,526,289	6,948,282
定期預金	12,000,195	12,000,195	0
流動資産合計	53,498,826	46,556,968	6,941,858
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,173,297	3,173,297	0
投資有価証券	1,432,169,700	1,446,065,979	▲13,896,279
基本財産合計	1,435,342,997	1,449,239,276	▲13,896,279
固定資産合計	1,435,342,997	1,449,239,276	▲13,896,279
資産合計	1,488,841,823	1,495,796,244	▲6,954,421
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,073,610	41,270	2,032,340
預り金	15,918	2,274	13,644
流動負債合計	2,089,528	43,544	2,045,984
負債合計	2,089,528	43,544	2,045,984
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	702,542,997	702,939,276	▲396,279
受贈投資有価証券	730,800,000	744,300,000	▲13,500,000
指定正味財産合計	1,433,342,997	1,447,239,276	▲13,896,279
(うち基本財産への充当額)	(1,433,342,997)	(1,447,239,276)	(▲13,896,279)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	53,409,298	48,513,424	4,895,874
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,486,752,295	1,495,752,700	▲9,000,405
負債及び正味財産合計	1,488,841,823	1,495,796,244	▲6,954,421

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産受取利息	7,560,063	7,560,318	▲255
受取寄付金	72,000,000	72,000,000	0
受取寄付金	72,000,000	72,000,000	0
運用財産受取利息	2,185	2,105	80
経常収益計	79,562,248	79,562,423	▲175
(2) 経常費用			
事業費			
支払助成金	62,478,839	59,043,808	3,435,031
研究助成	59,000,000	56,000,000	3,000,000
国際交流助成	178,839	43,808	135,031
学会等開催助成	3,300,000	3,000,000	300,000
会議費	3,819,244	3,401,541	417,703
諸謝金	4,176,394	4,833,477	▲657,083
旅費交通費	180,240	7,656	172,584
印刷製本費	443,306	482,743	▲39,437
消耗品費	587,382	551,772	35,610
通信運搬費	1,088,247	976,478	111,769
雑費	17,440	26,807	▲9,367
事業費計	72,791,092	69,324,282	3,466,810
管理費			
役員報酬	1,140,144	1,177,302	▲37,158
会議費	0	0	0
旅費交通費	17,644	26,188	▲8,544
印刷製本費	157,410	144,232	13,178
消耗品費	31,167	15,131	16,036
通信運搬費	386,192	320,364	65,828
会費	213,375	194,750	18,625
雑費	229,350	205,437	23,913
管理費計	2,175,282	2,083,404	91,878
経常費用計	74,966,374	71,407,686	3,558,688
当期経常増減額	4,595,874	8,154,737	▲3,558,863
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度分返還助成金	300,000	600,000	▲300,000
経常外収益計	300,000	600,000	▲300,000
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	300,000	600,000	▲300,000
当期一般正味財産増減額	4,895,874	8,754,737	▲3,858,863
一般正味財産期首残高	48,513,424	39,758,687	8,754,737
一般正味財産期末残高	53,409,298	48,513,424	4,895,874
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	2,503,721	2,503,721	0
一般正味財産への振替額	▲2,900,000	▲2,900,000	0
基本財産評価損益	▲13,500,000	437,400,000	▲450,900,000
当期指定正味財産増減額	▲13,896,279	437,003,721	▲450,900,000
指定正味財産期首残高	1,447,239,276	1,010,235,555	437,003,721
指定正味財産期末残高	1,433,342,997	1,447,239,276	▲13,896,279
III 正味財産期末残高	1,486,752,295	1,495,752,700	▲9,000,405

財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管	運転資金として	24,060	
	普通預金	みずほ銀行 相模大野支店	運転資金として	7,463,897	
		PayPay銀行 すずめ支店	運転資金として	33,983,711	
		みずほ銀行 町田支店	運転資金として	26,963	
	定期預金	PayPay銀行 すずめ支店	運転資金として	12,000,195	
現金預金合計				53,498,826	
流動資産合計				53,498,826	
(固定資産) 基本財産	定期預金	みずほ銀行 町田支店	満期保有目的で保有し、利息を公益目的の事業および管理運営の財源としている。	3,173,297 3,173,297	
	投資有価証券	国債		満期保有目的で保有し、利息を公益目的の事業および管理運営の財源としている。	1,432,169,700 301,369,700
		シングル・クレジット・リンク債		満期保有目的で保有し、利息を公益目的の事業および管理運営の財源としている。	100,000,000
		モルガン・スタンレー ステップアップ債		満期保有目的で保有し、利息を公益目的の事業および管理運営の財源としている。	100,000,000
		ゴールドマンサックス債		満期保有目的で保有し、利息を公益目的の事業および管理運営の財源としている。	100,000,000
		JPモルガンスタンレー債		満期保有目的で保有し、利息を公益目的の事業および管理運営の財源としている。	100,000,000
		上場株式1銘柄		寄附により受け入れた株式であり、配当等を公益目的の事業の財源としている。	730,800,000
基本財産合計				1,435,342,997	
固定資産合計				1,435,342,997	
資産合計				1,488,841,823	
(流動負債)	未払金	研究助成金及び通信運搬費に対する未払額	公益目的の事業に供する研究助成金、通信運搬費および管理運営に供する通信運搬費の未払分	2,073,610	
	預り金	源泉徴収税支払に対する預かり額	公益目的の事業に供する書面審査料および講演料に対する源泉徴収税の預かり分	15,918	
	流動負債合計				2,089,528
負債合計				2,089,528	
正味財産				1,486,752,295	

監査報告書

2022年4月15日

公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団

理事長 小池 正道 殿

公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団

監事 樋口 節夫 印

監事 柴 毅 印

私たちは、2021年4月1日から2022年3月31日までの公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団の第11期事業年度における会計及び業務を監査するため、帳簿ならびに関係書類の閲覧、理事会及びその他の会議に出席し理事から業務の報告を聴取するなど、必要と思われる監査手続を用いて財務諸表等の正確性及び業務執行の妥当性について検討した結果、次のとおり報告します。

1. 貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況を適正に表示していると認めます。
2. 事業報告書及び附属明細書の内容は、法人の業務執行の状況を正しく示していると認めます。
3. 理事の職務執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上